

| | | |
|---|--|---|
| <p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p> | <p>「多様な個性を尊び、未知なるものに挑戦する進取の精神を持った人材を育成する学校」 基礎基本を徹底した深い学びにつながる授業や独自の探究プログラム「嘉穂Dream Compass」を通して、地域から世界へ視野を広げ、持続可能な社会創りや次世代の科学情報技術を担う人材を育成します。</p> | |
| <p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p> | <p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や日本を担い、さらには世界のトッパーダーとして活躍できる学力や教養を身につけた人材の育成 ・物事の本質や真理を追究する姿勢を身につけた人材の育成 ・価値の意味を理解し、誠実に生きる姿勢を身につけた人材の育成 ・物事に取じない逞しい意思と生きていくために必要な体力を身につけた人材の育成 ・自主性、創造性及び多様な生き方を尊重する姿勢を身につけた地域創りに貢献する人材の育成 ・AIを活用し課題解決を図ることができる力を身につけた次世代を担う科学技術人材の育成 ・自ら将来設計を行うキャリアプランニング力を備えた人材の育成 |
| | <p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路に対応したカリキュラム編成 ・基礎的、基本的な知識・技能を確実に習得し、リーダーに必要な深い教養を身につけることができる授業の実施 ・高度な研究課題に取り組むことにより課題解決能力を身につけることができる探究活動の実施 ・中高間及び学科・コース間の交流をおとし、協働の意義を学び主体性、自主性、創造性を育む学校行事を実施 |
| | <p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・向上心があり、志の実現に向けて自分の能力を伸ばしたい人 ・さまざまな人と協力し、自分や集団の成長のために努力できる人 |

| 学校運営計画(4月) | | | | |
|---|---|---|------------------------------|------------------------------|
| 学校運営方針 | 「質実剛健」・「自主創造」に掲げる精神を実践するとともに、多様な生き方を尊び、未知なるものに挑戦できる人材の育成 | | | 評価(総合) |
| 昨年度の成果と課題 | 年度重点目標 | 具体的目標 | | |
| <p>生徒が主体となって学校生活を作っていく姿勢を育むことができた。引き続き、基本的な生徒指導、基本的な学習指導を実施していくことで、生徒の主体性、創造性、多様な生き方を尊重する姿勢と新たな時代が求める学力を育成していく。</p> | <p>「礼節」多様な生き方を尊重する姿勢を備え、高い人権意識を持つ生徒の育成を図る。</p> | <p>○人権にかかわる職員研修の実施や、職員との適切な言葉遣いの徹底により、職員の人権感覚と人権意識の高揚を図り、強い人権意識に基づいた教育活動を実施する。 ○教育活動全般における情報モラル教育の実施により、生徒の人権感覚の育成と他者への配慮の徹底を図る。</p> | | |
| | <p>生徒のたくましさや誇りの基盤となる「自主性」「主体性」「創造性」の育成を図る。</p> | <p>○国際祭(文化祭)、大運動会等の生徒会行事及び部活動を充実させることにより、生徒の「礼節」「自主性」「主体性」「創造性」及び「多様な生き方を尊重する姿勢」を育む。 ○各教科のシラバスを改善することにより、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を確立させる。</p> | | |
| | <p>生徒の課題解決力の基盤となる「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。</p> | <p>○各教科で授業並びに模試結果等の分析を確実にし、指導方法の改善を図ること(指導と評価の一体化)により、生徒の「基礎的・基本的な知識・技能」を確実に習得させ、「思考力」「判断力」「表現力」を育成する。 ○教員が質の高い授業と高い授業を実施することにより、「深い学び」に繋がる問いを実施し、生徒の学力を向上させる。 ○全職員が「学び」における生徒の成長の見取りと学力の向上を自己評価の項目に位置づけ、年間を通して研鑽に取り組む。</p> | | |
| | <p>「嘉穂Dream Compass」において、生徒の個性及び自ら学び考え行動する能力を開発し、生徒の第一希望進路の実現を図る。</p> | <p>○情報リテラシーの習得及び「AIチャレンジ」の活用により、課題解決能力を育成する。 ○嘉穂Dream Compassを軸として課題発見・課題解決能力を育成するとともに進路観を育成する。</p> | | |
| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等 | 生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等 |
| 学習指導 | <p>深い学びにつながる授業改善の促進</p> | <p>シラバスに基づいた授業を展開し、各学期末にその反省及び改善を行う。 外部模試などの客観的データに基づき各教科における深い学びに繋がる授業の実態の分析を行い、授業改善に生かす。 習熟度別の成績集計により、習熟度別授業の実態の検証と改善を図る。</p> | | |
| | <p>学習指導・校務における情報化の更なる推進</p> | <p>1人1台端末の活用方法を真摯に、探究活動等が円滑に行われるよう整備する。情報モラルを含め機材の適切な使用を啓発する。 教員が生徒に向き合う時間を確保すべく統合型校務支援システムの効果的活用方法を研究する。 教員を対象にデジタルツールの周知・導入を推進し、深い学びに繋がる授業実践の一助とする。</p> | | |
| 生徒指導 | <p>規範意識の高揚と生徒の主体性の育成</p> | <p>全ての教育活動において教員及び生徒の言語環境を整え、生徒と教員の望ましい信頼関係を築く。 生徒主体の生徒会活動を促進するため、他校との生徒会交流やリーダーズ研修を充実させる。 学校行事の企画・運営を生徒主体で行うことにより、創造力や実行力及び協働性の育成を図る。(生徒会の育成)</p> | | |
| | <p>心身の健康づくりと安全な教育環境の整備</p> | <p>年度への声かけを充実させることにより、生徒に安心感を与え、安定した情緒と自信共に大切にできる思いやりの心を育む。 面談やスクールカウンセラー等の教育相談では保護者等との連携を強化し、その充実を図る。 美化活動の意義を理解させ、清掃活動など自ら主体的に環境整備や改善に努めることができる生徒を育成する。</p> | | |
| 進路指導 | <p>確かな学力の定着と第一希望進路の実現</p> | <p>「学びの基礎診断」模試分析を充実させ、生徒の学力向上への指導につなげる。 新教育課程に向けて課外や補習の内容を再検討し、受講者と学力向上を図る。 個別大総合型・学校種別型対策を早期に始め、組織的に推進していく。</p> | | |
| | <p>生徒のキャリア形成につながる探究活動とKDCでの取組の深化</p> | <p>「総合的な探究の時間」の活動内容の精査と生徒の進路実現に繋がる成果物の作成を促進する。 学年を通して職業研修・九州研修の内容を再考する。特に職業研修は修学旅行とは異なる企業研修を充実させる。 一人一台端末を活用し、大学・企業等からの公募型ワークショップへ積極的な参加を図る。</p> | | |
| 研修 | <p>教科指導力向上に資する研修の活性化</p> | <p>附属中学校への参観を重点的に呼びかけ、日常的に相互授業参観を行う環境を整える。 授業評価アンケートを速やかに返却するとともに、単元別アンケートの活用を呼びかける。 研修報告書「登々」で授業研修や個人研修の事績を残し、職員に還元する。</p> | | |
| | <p>校内作成資料の適正化と教職員相互の連携</p> | <p>PTA総会資料をはじめとする資料作成の過程を整理し、データの管理を確実に行う。 職場環境の整理と学校共済金のあり方の見直しを行い、教職員間の連携や親睦を深める。 防災避難訓練を実施に合ったものにし、「危機管理マニュアル」との整合性を図る。</p> | | |
| 第1学年 | <p>確かな学力の定着</p> | <p>生徒の知的好奇心を引き出す授業の展開、質の高い授業を実施する。 教師と生徒の言語環境を整えたくえで活発なコミュニケーションを図り、授業を生徒の居場所とする。 定期考査と模試試験を詳細に分析して生徒と共有したうえで、中長期的な学習計画立案と振り返りを促す。</p> | | |
| | <p>主体性、協働性、多様な生き方を尊重する姿勢の育成</p> | <p>実行委員会による学年行事の設定により、主体性を育む機会づくりと支援を行う。 授業や学校・学年行事において他者と協働する場面を積極的に設定し、協働性を育む機会づくりと支援を行う。 学級の枠を超えた学年行事や総合的な探究の時間を展開し、多様な個性を持つ人物との繋がりを育むように促す。</p> | | |
| 第2学年 | <p>自己実現に向けた生徒支援、キャリア教育の充実</p> | <p>高校2年生としての学習習慣を確立させ、自学時間を伸ばす。 学習、行事、部活動等において、意図を持って行動し、対話を通して学び合い、目標達成のために努力し続ける。 探検や修学旅行を通して、本物に触れ、実感を覚える機会を充実させ、自己の可能性と社会との繋がりを発見させる。</p> | | |
| | <p>信頼関係の構築</p> | <p>生徒も教師も言語環境を整え、豊かなコミュニケーション活動を通して、心を育て合う。 素直に自他の長さと失敗を認め合い、誠実に行動する集団作りを行う。 全教育活動を通して、校内外で他者へ配慮する態度を育む。</p> | | |
| 第3学年 | <p>一人一人の進路実現につながるきめ細かい進路指導</p> | <p>高い進路目標の設定を行い、多様な進路に対応することができるよう質の高い授業を展開する。 受験生になる学年であるため、もう一度自律した生活を見直し、自学時間を伸ばす。 模試分析で指導改善方法を常に模索し続ける。</p> | | |
| | <p>中高6学年のリーダーとしての資質向上</p> | <p>最上級生として指導はもちろん部活動や学校行事に最後まで粘り強く取り組む姿勢を育む。 信頼されるリーダーになるべく、国際祭、大運動会等の生徒会行事に誠実に取り組むことを支援する。 多様な個性を認める態度の醸成、その中で他者の立場に立った振舞い、言葉遣いを身に付けさせる。</p> | | |
| 理科 | <p>基礎的・基本的な知識・技能及び課題解決能力の育成</p> | <p>基礎・基本、発展的な内容を取り扱った授業を展開する。 授業進度の工夫、演習問題の精選により確かな学力をつけさせる。 理数探究において、生徒の主体的活動を支える指導を行う。</p> | | |
| 武道・日本文化コース | <p>幅広い知識と教養を身に付け、コース独自の行事の検討</p> | <p>課題研究内容を検討し、成果発表会の充実を図る。 日本文化実習の内容を精査する。 学校定款科目で実施したものを総合的な探究の時間とリンクさせる。</p> | | |